



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場会社名 トレンドマイクロ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4704 URL <http://www.trendmicro.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) エバ・チェン  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) マヘンドラ・ネギ (TEL) 03-5334-4899  
 (COO兼CFO)  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	52,815	15.6	13,769	31.1	15,678	44.5	9,575	45.8
24年12月期第2四半期	45,689	△5.4	10,503	△20.3	10,848	△17.4	6,569	△17.2

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 14,222百万円(114.7%) 24年12月期第2四半期 6,623百万円(△29.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	72.67	72.57
24年12月期第2四半期	49.93	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	235,971	122,310	50.4
24年12月期	219,007	113,492	49.9

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 119,003百万円 24年12月期 109,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	-	0.00	-	67.00	67.00
25年12月期	-	0.00	-	-	-
25年12月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年12月期の期末配当については未定です。

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,200	14.2	26,400	17.8	28,100	24.0	17,100	27.2	130.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却の方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年12月期2Q	140,293,004株	24年12月期	140,293,004株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

25年12月期2Q	7,471,424株	24年12月期	8,732,135株
-----------	------------	---------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年12月期2Q	131,760,767株	24年12月期2Q	131,556,735株
-----------	--------------	-----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報等	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(単位：百万円)

	売上高		
	平成25年12月期 第2四半期(累計)	平成24年12月期 第2四半期(累計)	増減率
日本	23,709	22,037	7.6%
北米地域	11,566	9,128	26.7%
欧州地域	9,801	8,197	19.6%
アジア・パシフィック地域	6,425	5,256	22.3%
中南米地域	1,313	1,070	22.7%

当第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日～平成25年6月30日)における世界経済は、穏やかな景気拡大が続いている米国をはじめ、景気回復に力強さはないものの国によって景況感の改善が続いている欧州経済、減速傾向が見られる新興国経済など、依然として不確実性が大きい状況であります。

わが国経済は依然としてデフレ脱却が課題となる中、一部に弱さが残るものの政府の積極的な経済政策や日銀による大幅な金融緩和の効果もあり、大企業を中心に収益に改善がみられるほか、雇用情勢や輸出の持ち直しなども見られ、日本経済は改善に向かう動きがみられます。

情報産業につきましては、世界のパソコン出荷台数が5四半期連続で前年実績を下回るという過去にない減少を記録しました。米国では法人向け需要が回復する兆しが見えている一方、欧州や中国の減少は続いています。国内市場においてもパソコン出荷台数は前年実績を割っていますが、世界的にサーバ仮想化を含むクラウドコンピューティングとそれに伴うITサービスなどの需要は高まりつつあり、企業の景況感の改善に伴い今後IT投資を牽引することが期待されます。

このような環境下、当社グループの経営状況は、以下のようなものであります。

日本地域は企業向けビジネス及び個人向けビジネス共に増収となりました。特に個人向けビジネスはスマートフォン等の新しいデバイス向けのセキュリティサービスが収益に寄与し始め、同地域の売上高は23,709百万円(前年同期比7.6%増)と増収となりました。

北米地域におきましても、企業向けビジネス及び個人向けビジネス共に増収となりました。特に第2四半期(4月～6月)において現地通貨ベースにおいても企業向けビジネスが増収となり、また円安の影響も大きく受け、同地域の売上高は11,566百万円(前年同期比26.7%増)の二桁増収となり、当社グループ販売地域の中で最も大きく伸張しました。

欧州地域につきましては円安の影響を大きく受け、二桁成長となりました。しかしながら現地通貨ベースにおいては、同地域を牽引する企業向けビジネスが経済状況の悪化の影響を受け弱く、個人向けビジネスの拡大も同地域の今後の課題であります。その結果、同地域の売上高は9,801百万円(前年同期比19.6%増)となりました。

アジア・パシフィック地域につきましても円安の影響が大きく、企業向けビジネス及び個人向けビジネス共に二桁成長の増収となりました。成長の鈍化が見えていたオーストラリアの回復の兆しもあり、また、好調の続く中国と共に同地域を牽引した結果、同地域の売上高は6,425百万円(前年同期比22.3%増)となりました。

中南米地域につきましては、引き続きブラジルは好調であったもののメキシコは振るいませんでした

が、円安の影響もあり、同地域の売上高は1,313百万円(前年同期比22.7%増)となりました。

その結果、当社グループ全体の当第2四半期連結累計期間における売上高は52,815百万円(前年同期比15.6%増)と全地域において増収となりました。

一方費用につきましては、全般的に円安の影響を大きく受けました。マーケティング費用等は減少したものの、人件費を中心に増加し、売上原価および、販売費及び一般管理費の合計費用は39,046百万円(前年同期比11.0%増)となり、当第2四半期連結累計期間の営業利益は13,769百万円(前年同期比31.1%増)となりました。

また、当第2四半期連結累計期間の経常利益は有価証券売却益が増加したこと等により15,678百万円(前年同期比44.5%増)、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は関係会社株式売却益もあり、9,575百万円(前年同期比45.8%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の現金及び預金の残高は65,793百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,060百万円増加いたしました。また現金及び預金と投資有価証券が大幅に増加したこと等により、当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ16,964百万円増加の235,971百万円となりました。

一方、当第2四半期連結会計期間末の負債は未払金や繰延収益が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ8,145百万円増加の113,661百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、自己株式と為替換算調整勘定のマイナスが大幅に減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ8,818百万円増加の122,310百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成25年5月9日に公表した通期業績予想の変更はございません。

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、通期の業績予想について信頼性の高い数値を算出することは困難であると考えておりますが、当社グループの通期の業績については、日本地域は前年同期比5%程度の増収、北米地域、欧州地域は前年同期比20%程度の増収を想定しております。これらを勘案し、通期連結業績につきましては、以下の数値を予想しております。

平成25年12月期通期業績見通し(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

連結売上高	107,200百万円
連結営業利益	26,400百万円
連結経常利益	28,100百万円
連結純利益	17,100百万円

上記業績予想値の策定にあたって、想定しております為替レートの主要なものは下記の通りであります。

1米ドル	97円
1ユーロ	127円

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	54,732	65,793
受取手形及び売掛金	20,999	21,267
有価証券	64,110	62,716
たな卸資産	370	292
繰延税金資産	14,775	14,579
その他	4,375	5,182
貸倒引当金	△104	△157
流動資産合計	159,259	169,674
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	3,364	3,246
その他（純額）	1,073	1,074
有形固定資産合計	4,437	4,320
無形固定資産		
ソフトウェア	5,740	6,064
のれん	960	907
その他	1,169	1,110
無形固定資産合計	7,870	8,082
投資その他の資産		
投資有価証券	35,292	42,246
関係会社株式	190	33
繰延税金資産	10,739	10,412
その他	1,217	1,202
投資その他の資産合計	47,440	53,894
固定資産合計	59,748	66,297
資産合計	219,007	235,971

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	727	727
未払金	3,758	6,366
未払費用	4,844	4,315
未払法人税等	5,678	4,568
賞与引当金	840	1,153
返品調整引当金	602	815
短期繰延収益	59,286	63,413
その他	2,306	2,847
流動負債合計	78,044	84,207
固定負債		
長期繰延収益	24,464	25,491
退職給付引当金	2,371	2,686
その他	634	1,275
固定負債合計	27,471	29,453
負債合計	105,515	113,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,386	18,386
資本剰余金	21,111	21,426
利益剰余金	102,451	103,212
自己株式	△26,440	△22,429
株主資本合計	115,509	120,595
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	572	1,069
為替換算調整勘定	△6,810	△2,661
その他の包括利益累計額合計	△6,238	△1,591
新株予約権	4,213	3,298
少数株主持分	7	8
純資産合計	113,492	122,310
負債純資産合計	219,007	235,971

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	45,689	52,815
売上原価	8,546	9,845
売上総利益	37,143	42,970
販売費及び一般管理費	26,640	29,201
営業利益	10,503	13,769
営業外収益		
受取利息	655	735
有価証券売却益	254	1,184
持分法による投資利益	2	—
為替差益	—	1
その他	62	60
営業外収益合計	975	1,981
営業外費用		
支払利息	0	4
有価証券売却損	78	—
有価証券評価損	51	—
為替差損	305	—
持分法による投資損失	—	1
その他	193	67
営業外費用合計	629	72
経常利益	10,848	15,678
特別利益		
新株予約権戻入益	—	68
関係会社株式売却益	—	403
特別利益合計	—	471
税金等調整前四半期純利益	10,848	16,149
法人税等	4,279	6,574
少数株主損益調整前四半期純利益	6,568	9,575
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	0
四半期純利益	6,569	9,575

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,568	9,575
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△152	496
為替換算調整勘定	206	4,150
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	—
その他の包括利益合計	54	4,647
四半期包括利益	6,623	14,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,610	14,221
少数株主に係る四半期包括利益	12	1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,848	16,149
減価償却費	3,236	3,596
株式報酬費用	1,313	411
新株予約権戻入益	—	△68
のれん償却額	356	165
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	41
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	113	184
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	179	246
受取利息	△655	△735
支払利息	0	4
持分法による投資損益 (△は益)	△2	1
有価証券売却損益 (△は益)	△175	△1,184
有価証券評価損益 (△は益)	51	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△403
売上債権の増減額 (△は増加)	1,828	1,088
たな卸資産の増減額 (△は増加)	194	112
仕入債務の増減額 (△は減少)	△182	△79
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△459	△292
繰延収益の増減額 (△は減少)	3,299	1,219
自社株連動型報酬 (△は減少)	—	807
その他	694	371
小計	20,640	21,637
利息及び配当金の受取額	695	797
利息の支払額	△0	△4
法人税等の支払額	△3,602	△7,231
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,732	15,199
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△1,766	633
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△35,649	△52,214
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	28,569	50,164
有形固定資産の取得による支出	△604	△877
無形固定資産の取得による支出	△1,285	△2,225
関係会社株式の売却による収入	—	559
その他	△103	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,840	△3,960
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△1,848
自己株式の処分による収入	10	4,915
配当金の支払額	△10,794	△8,408
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,783	△5,341
現金及び現金同等物に係る換算差額	△214	4,766
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,106	10,663
現金及び現金同等物の期首残高	71,167	50,446
現金及び現金同等物の四半期末残高	67,061	61,109

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

(単位：百万円)

	日本	北米	欧州	アジア・ パシフィック	中南米	計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	22,037	9,128	8,197	5,256	1,070	45,689	—	45,689
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,398	782	373	5,771	5	9,330	△9,330	—
計	24,435	9,910	8,570	11,027	1,075	55,019	△9,330	45,689
セグメント利益	8,506	644	371	610	274	10,407	95	10,503

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米 … 米国・カナダ

欧州 … アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国

アジア・パシフィック … 台湾・韓国・オーストラリア・中国・フィリピン・シンガポール・  
マレーシア・タイ・インド

中南米 … ブラジル・メキシコ

3 セグメント利益の調整額95百万円は、その全額がセグメント間消去の金額であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

(単位：百万円)

	日本	北米	欧州	アジア・ パシフィック	中南米	計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	23,709	11,566	9,801	6,425	1,313	52,815	—	52,815
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,007	1,134	481	7,499	7	11,130	△11,130	—
計	25,716	12,700	10,283	13,924	1,320	63,946	△11,130	52,815
セグメント利益	9,798	2,135	1,216	625	273	14,049	△280	13,769

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米 … 米国・カナダ

欧州 … アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国

アジア・パシフィック … 台湾・韓国・オーストラリア・中国・フィリピン・シンガポール・  
マレーシア・タイ・インド

中南米 … ブラジル・メキシコ

3 セグメント利益の調整額△280百万円は、その全額がセグメント間消去の金額であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。